

挑戦 2013

新入学、新成人、定年後の第二の人生...。4月は新たな分野に挑戦する季節だ。これまでに培ったものをベースに、もうひとつ上のステージへのチャレンジ。逆境の中、大きな第一歩を踏み出す人。今回の特集では、そんな新たなチャレンジに燃える人々を紹介する。



TASHIMA MERU
田島芽瑠さん

自然体のセンターに

「スキ！スキ！スキップ！」でメジャーデビューを果たすHKT48。注目のセンターには2期・13歳田島芽瑠さんが大抜擢された。さらなるステップアップを目指すHKT48の中心として、どのようなセンターを目指すのか。田島さんにインタビューした。

■2期生オーディションから約8カ月。合格したときはどんな心境でしたか？

びっくりしました。本当に自信がなくて...。オーディション会場はすごくビビりしていました。私もすごく緊張してしまって、本番でも歌った後に審査員の質問があるのに、間違えて席に戻ってしまったんです...。合格できて本当にびっくりしました。

■HKT48の活動には慣れましたか？ 大変だったことなどはあれば教えてください。

劇場のステージに立つとまだまだ緊張することが多いです。大変だったのはダンスの練習。これまでダンス経験がなかったんです。公演のダンスができなくてダンスの先生に「このままだと公演に出せない」と言われたこともありました。かなり苦戦したし今でもちょっと苦手なので、日々練習をしています。

■アイドルになろうと思ったきっかけを教えてください。

ずっと歌手に憧れていました。それでHKT48のオーディションを受けました。好きなミュージシャンは西野カナさんや、いきものがかりさんです。

■メジャーデビュー曲「スキ！スキ！スキップ！」のセンターに大抜擢されましたが、それを知ったときどう思いましたか？

気持ちの整理もつかなくて...。もちろんプレッシャーはありますが、チャンスをもたらしたので頑張ります。メンバーのみんなも、頑張って、と声をかけてくれます。

■ダンスが苦手なので、振り覚えるのに時間がかかってしまいました。MVでは、撮影直前にダンスの振付を覚えることになったのですが、必死でした。これまで未経験だったラインダンスなど、想像していたより難しくて大変でした。ダンスと歌。どちらも課題です。これからもっともっと努力して伸ばしていきたいと思っています。

■「スキ！スキ！スキップ！」PV撮影の裏話や、気に入っているところなどを教えてください。

撮影はメンバーみんな泡だらけになってすごく楽しかったです。自由にやらせてもらいました。カメラも気にならないくらい楽しい撮影でした。楽屋での様子を覗かれているみたい。メンバーの自然体の姿が出ています。

■「スキ！スキ！スキップ！」は元気になる歌です。「月曜日の朝がやってきて」から始めて、今日からの1週間を頑張ろうと思える歌詞です。お気に入りなのは「足を踏まれても笑って許せる」というところ。恋することって楽しい！とポジティブな気持ちが出ています。ダンスも2人で足を踏み合うところがあって、楽しいです。

■趣味は何ですか？

詩を書くのが好きです。だから秋元康先生はどうして、こんなに女の子の気持ちを書けるの不思議です。私たちの年齢でも共感できちゃう歌詞はすごい！

■これから挑戦したいことを教えてください。

皆さんに笑顔になってもらえるように活動を頑張りたいと思います。これからHKT48をたくさんの方に知って頂けるよう、アピールしたいと思います。どういうセンターでありたいと思いますか。

■ありのままの、自然体の私でありたい、と思っています。

■佐賀のことで知っていることがあれば教えてください。

バレーフェスタ！ 家族と一緒に3・4回行きました。雨で中止の時もあったけど、夜間保留や屋台など楽しかったです。

■最後に佐賀の人へメッセージを

初めまして、HKT48の田島芽瑠です。佐賀県の隣、福岡を拠点に活動をしています。3月20日には「スキ！スキ！スキップ！」で念願のCDデビューをさせていただきました！これからHKT48のことをもっともっとたくさんの人に知ってもらって、田島芽瑠のことも知ってもらいたいです。応援よろしくお願ひします！

HKT48 田島芽瑠さん サインプレゼント
詳しい応募方法はP123~のプレゼントページをご覧ください！



挑戦
2013

株式会社 SagashimbunBunka Center
佐賀新聞文化センター

必勝! アイドル オーディション講座

ダンス&アピール

ダンスは歌とともに、アイドルに欠かせない要素です。基礎的な体の動かし方やリズムの取り方をみっちり勉強。どんな振りでも感覚的に対応できるような準備をしましょう。



日時

月曜 18:00~
(月2回)

講師

佐野 裕美

ヴォイストレーニング

アイドル系のトレーナーによる本格的なレッスンです。自分の声質に合わせた、無理のない歌い方を身につけましょう。



日時

水曜 18:00~
(月2回)

講師

進登 祐美

約400講座!

+α(プラスアルファ)

佐賀新聞文化センターの講座から好きなものを選択!! 自分にあった特技を磨きましょう。
例) 日本舞踊、絵画、ハーモニカ、奥の細道を読む、外国語...

◇詳しくはエスプリをご覧ください

随時
募集中

定員 30人

受講料 15,000円/月 [3分野]

対象 小学5年~中学3年

お問い合わせ/お申し込みは

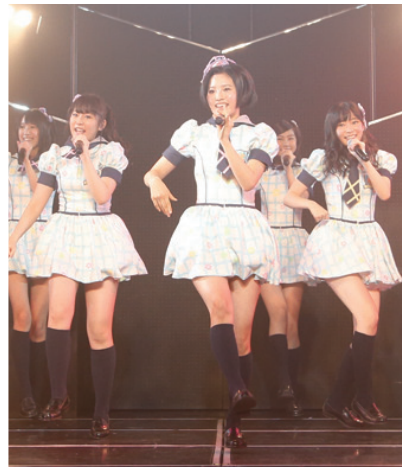
佐賀新聞文化センター エスプラッツ教室
佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F
http://www.saga-sbc.jp

3つの講座で
15,000円!

TEL 0952-25-2160

info@saga-sbc.jp

HKT48 新公演「博多レジェンド」潜入!!!



さらなる「伝説」の予感

テレビ番組にCMに引っ張りだこのHKT48。ついに3月20日には「スキ!スキ!スキップ!」でメジャーデビューを果たした。そんなノリノリのHKT48だが、いま更なるチャレンジに臨んでいる。チームHメンバーがセットリストを考えた「博多レジェンド」公演だ。モテモテさが編集部は初日の劇場に潜入。若さと女性らしさが同居した、進化形チームHを目撃した。

♥ 博多弁の歌詞も

2011年11月26日のHKT48劇場オープンから上演してきた「手をつなぎながら」公演が2月17日に千秋楽を迎え、この日、新たな公演が始まる。小雨が降る中、開演前には長蛇の列。ファンの期待の高さがうかがえる。

♥ 大人の雰囲気

ユニットパートでは、少女らしいファンタジックなものから、大人の色気を感じさせるものまで、幅広い表現で、この1年2カ月の成長ぶりを実証する。MCは「博多レジェンド」にちなみ、なぜか「博多」がある。埼玉県出身・多田愛佳さんの「ゴミ収集車が夜中に来るのがびっくりした」というエピソードや、メンバーによる博多弁講座など客席の笑いを誘っていた。

公演中盤にはデビューシングル「スキ!スキ!スキップ!」(Type-C)に収録されているカップリング曲「制服のパンビ」(兒玉・指原・宮脇、3名のユニット曲)を、アンコールでは「スキ!スキ!スキップ!」を初披露し、劇場の盛り上がりは最高潮に。ラストの「白いシャツ」を歌い終わると、客席からは温かい拍手と声援が飛ぶ。

初公演を終え、チームHキャプテンの穴井千尋さんは「最初は緊張していたんですが、始まったらあっという間でした。私たちのデビューシングル『スキ!スキ!スキップ!』も初披露でき、本当に嬉しかったです。『博多レジェンド』という公演名に負けないよう努力し、HKT48を一人でも多くの方に知って頂けるようにこれからも頑張ります!!」とコメントした。

始まったばかりの「博多レジェンド」公演。新たな伝説が生まれる現場を、たくさんの人に見て欲しい。

木

製の引き戸と古いガラスが印象的な商家に、「七虹（ななこ）」と手描きされた看板。久留米市の繁華街のちよつと外れ。カフェや美容室などセンスの良い店が最近増えてきた注目の街・小頭町に2月下旬、サステナ（＝継続可能）食堂「七虹」がオープンした。店主は田島早苗さん。東日本大震災の被害を受けた福島県いわき市から鳥栖市に中学生の長男と小学生の長女2人と避難してきて1年7カ月、念願のお店で新たなチャレンジが始まった。

引き戸を開けると、古い時計や家具が無造作に置いてある。小上がりには真新しい洗髪台と美容椅子が。「夫がこっちらに来たら美容室にする予定なんです。なかなか準備が進みませんが。食堂には勝手口からどうぞ」と田島さん。旦那さんは現在、いわき市で美容室を経営している。復興に向けて人が集まっており、仕事は忙しいというが、4月からは佐賀2週間、福島1カ月のペースで合流する。

勝手口を開けると、懐かしい風景が広がっている

古い商家でマクロビ食堂

東日本大震災で福島から避難

田島早苗さん



死んだかと思った

2011年3月11日14時46分18秒。田島さんは旦那さんの美容室で仕事をしていました。「お客さんのシャンプーをしていたら大きな揺れがきました。6分くらい続いたと思います。自宅に戻ると大規模半壊でした」。その後2週間、家族4人で関東の親戚宅を転々とした。水道が復旧して、いわき市に戻り仕事を再開するが、大震災と原発事故に襲われた故郷は以前とは違う雰囲気になっていました。長男が所属していたサッカー部の練習を巡る議論、食材選びに気を配る毎日。「ストレスを感じていました。何が正しくて何が間違いなのかわからず、情報が錯綜する中、それぞれの家族毎に選択も色々でした。死んだと思いました。生かされた命を大切に、好きに生きたい。遠いとはいえ、同じ日本、どうにかなるだろうと避難を決断しました。佐賀県の支援が

日本一だと聞き、その中でプロサッカーチームがある鳥栖市に決めました」。旦那さんの後押しもあり、2011年7月子ども2人とともに避難してきました。

「家族が元気」一番

食事のメニューは日替わりのみ。この日は「ヒヨコ豆のコロッケ」をメインに黒米と玄米ご飯など7皿が出た。中華風みそ汁には皮のついた太いゴボウとさっきのネギ。料理は食材のバランスを考えるマクロビオティックという考えに基づいて調理されている。自然志向の料理にありがちな薄味ではなく、しっかりと味がついている。肉類や卵を使っていないのに食べ応え十分だ。漆器のお盆とお椀はこの家に元々あったもの。ユーモアを感じる小鉢の磁器は、いわき市の家から持ってきたそうだ。「元々、古いものが好きで焼き物も集めていました。たくさん割れてしまいましたが。子どものア

レルギーがひどく、食事にについては以前から独

学で勉強していました。いつかは古い物を使ってカフェをしたいと思っていました。

食堂は火、水、木曜日の平日3日間だけの営業（その他曜日も応相談）。「震災前までは仕事中心の生活でしたが、今は

子どものことを第一に考えながら生活しています。価値観が変わりました。家族が元気で日々、楽しく、それが一番だと思います」。店内にあふれる親戚の家のような居心地の良さは、田島さんの考え方によるものだろう。東日本大震災という大きな受難に遭いながら、前を見据え、自分自身の価値観で取り組む。田島さんの姿勢にははっきりとした希望が見える。



サステナ食堂
七虹
福岡県久留米市小頭町1-22-1
TEL/090-3753-1441
営業/10時〜17時(火・水)
※その他日曜日はご予約があれば相談可

hair
世界

営業/9時〜17時(不定休)
TEL/090-3753-1441



挑戦
2013

お問い合わせ
(社)佐賀青年会議所
TEL 0952 (32)1565
FAX 0952 (30)6964
e-mail/info@sagajc.or.jp
http://www.sagajc.or.jp

会員募集中!!
20歳～40歳までの、佐賀を元気にしたい!・自己トレーニングしたい・仲間をつくりたい方など、どなたでも入会できます。お気軽にお問い合わせください。

37年ぶり
九州地区大会

1万人規模
「佐賀城フェス」

心を育てる
「ミュージカル」

勇壮に「つながり」創る

「み」つめよう地域を、「つながり」が創る勇壮なる佐賀の未来へ。佐賀の若い力を結集し、時代の先端で明るい豊かな未来の創造に取り組み団体・社団法人佐賀青年会議所も大きなチャレンジに挑む。7月には公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会九州地区大会を37年ぶりに佐賀市で開催。佐賀城を舞台に音楽や食、歴史などを融合した全く新しいフェスもスタートさせる。また市民100人が参加する新しいミュージカルも企画。稽古を通して親子に、努力や助け合う心を身につけてもらうという壮大な計画だ。

最先端のテーマで議論
九州地区大会は九州内78カ所の青年会

7月13日(土)
14日(日)
15日(月・祝)
開催!!

佐賀青年会議所



社団法人佐賀青年会議所 第58代理事長 荒尾 彰さん



JCI 公益社団法人 日本青年会議所 九州地区協議会

九州地区大会2013 佐賀大会

美しい心づくり委員会 委員長
増田弘志さん

常任理事
自立した安心力確立室 室長
堤 雄亮さん

理事長
荒尾 彰さん

副理事長
相原 宏さん

佐賀城フェス実行委員会
委員長
前田博己 さん

佐賀城フェス実行委員会
副委員長
徳永康宏さん

この3つの事業は単なるイベントではない。じっくり準備することで、その過程もまちづくりに活かそうとしている。荒尾理事長は「もう一度、地域のことを知り、つながりを構築するきっかけになれば良いと思っています。地に足をつけ勇壮に、勇ましく明るくチャレンジします。未来を我々が切り開くという意気込みで頑張ります」と呼びかける。佐賀青年会議所に注目だ。

「佐賀城フェス」は、地域の誇りとして佐賀城をランドマーク以上の存在にしたい、という思いで企画された。九州地区大会の会期中の7月13、14日に開催され、2日間で1万人の来場者を見込んでいる。いろいろなジャンルの実力派ミュージシャンのライブを中心に、佐賀や九州の特産品が味わえるブースや歴史、伝統文化の展示を行う。佐賀の良さを発信しつつ、九州が一体となって浮揚して行くという趣向だ。日本のみならずアジア関連ブースの設置も予定されている。発生から1年となる九州北部豪雨を支援するイベントも企画している。荒尾理事長は「東日本大震災では、地域コミュニティが大きな存在感を示しました。住んでいる場所や趣味などを中心とした小さいコミュニティ同士が共感できるような空間にすることで、つながりの広がりを実現したい」と意気込む。また伝統文化を披露する団体も募集中。我こそは、という人は佐賀青年会議所まで連絡を!

舞台通し道徳心涵養

佐賀青年会議所ではこれまでも青少年育成事業に力を入れてきた。昨年は佐賀のことを学ぶカルタづくり、一昨年は親子でベンチを作り、東日本大震災の被災地へ贈っている。今年度挑戦するのはミュージカル。いじめ問題をテーマに、今秋上演を目指している。出演するのは子どもから大人まで約100人。講師は経験豊かなプロ。ゼロからスタートして、4～5カ月、週1、2回の練習を通してプロ並みの舞台を作り上げる。異例の長期プロジェクトだ。練習を通じて、他人を思いやる心、知らない人とコミュニケーションをとることを学んでいく。同時に大人にとっても再び学ぶ契機になるだろう。荒尾理事長は「イジメや虐待が社会問題化しています。そこには命を軽視する風潮を感じます。多くの人に関わって一つの物を作り上げていく体験を通して道徳心を養ってほしい。またそれぞれの可能性に気づいてもらえれば嬉しいです」と期待する。

実力派集まるライブ

「佐賀城フェス」は、地域の誇りとして佐賀城をランドマーク以上の存在にしたい、という思いで企画された。九州地区大会の会期中の7月13、14日に開催され、2日間で1万人の来場者を見込んでいる。いろいろなジャンルの実力派ミュージシャンのライブを中心に、佐賀や九州の特産品が味わえるブースや歴史、伝統文化の展示を行う。佐賀の良さを発信しつつ、九州が一体となって浮揚して行くという趣向だ。日本のみならずアジア関連ブースの設置も予定されている。発生から1年となる九州北部豪雨を支援するイベントも企画している。荒尾理事長は「東日本大震災では、地域コミュニティが大きな存在感を示しました。住んでいる場所や趣味などを中心とした小さいコミュニティ同士が共感できるような空間にすることで、つながりの広がりを実現したい」と意気込む。また伝統文化を披露する団体も募集中。我こそは、という人は佐賀青年会議所まで連絡を!